

授業科目名	子育て支援		担当教員名	森下 真由美
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分 等	保育の内容・方法の理解に関する科目	
必修・選択/単位数	必修 / 1単位 (15時間)		授業方法/担当形態	演習 / 単独
開講学年/学期	2年 前期 (1-2期) / 年間開講数 1講座		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 保育士として長年にわたる実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。
授業の概要及び全体目標	(1)保育士の行う子育て支援の特性を考察し、子育て支援の展開について理解を深める。 (2)保育士の行う子育て支援と実際のグループワークにて考え合う。(内容・方法・技術)			
到達目標	(1)保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援(保育相談支援)について、その特性と展開を具体的に理解する。 (2)保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解する。			
テキスト	「プラクティス 保育・福祉のはじまり 子育て支援」立花直樹他 編著 (ミネルバ書房)			
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領<原本>」(株式会社チャイルド本社)			
成績評価の方法	平常点(受講態度、受講カード等)30% グループ討議・発表 30% 提出物(レポート等)40%			
授業外(事前・事後)学習の方法、オフィスアワー等	事前・事後学習については授業中に指示します。 質問等は毎時間の受講カードによってフィードバックを行う他、授業終了後に研究室で受け付けます。			
授業計画	授業の内容			到達目標番号
第1回	子どもの保育とともに行う保護者の支援 日常的・継続的なかわりを通じた保護者との相互理解と信頼関係の形成			
第2回	保護者や家庭の抱える支援ニーズへの気づきと多面的な理解 子ども・保護者が多様な他者と関わる機会や場の提供			
第3回	子ども及び保護者の状況・状態の把握 支援の計画と環境の構成			
第4回	支援の実践・記録・カンファレンス 職員間の連携・協働			
第5回	社会資源の活用と自治体・関係機関や専門職との連携・協働 保育所等における保護者支援			
第6回	地域の子育て家庭に対する支援 生涯のある子ども及びその家庭に対する支援			
第7回	特別な配慮を要する子ども及びその家庭に対する支援 子ども虐待の予防と対応			
第8回	要保護児童等の過程に対する支援 多様なニーズを抱える子育て家庭への理解			